

# 令和4年度 事務事業評価シート（1）

## [ 令和3年度事務事業 ]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	依存症対策推進事業			事業番号	011-275
担当部署名	健康福祉	局	健康	部	精神保健 課

### I. 基本情報

#### 事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(6) 暮らしを支えるセーフティネットの構築
		有	取組の方向性	⑤依存症対策の強化			
	堺市SDGs 未来都市計画	寄与するKPI	有・無	指標名	—		
		無	現状値	—	目標値	—	
2	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.5	
		有	取組	薬物、アルコール、ギャンブル、ゲームなどの依存症対策の推進			
3	寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画						
3	事業開始年度		令和 2 年度		点検年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)		アルコール健康障害対策基本法、ギャンブル等依存症対策基本法、依存症対策地域支援事業実施要綱				

#### 事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、こころの健康センター、各区					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	依存症で悩む市民、及び依存症となるリスクのある市民、その他市民	対象数	—			
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	依存症に関する知識の普及啓発を行い、予防もしくは重症化の予防をめざすと同時に、状況やニーズに応じて、依存症に関する相談、受診、自助グループの利用ができるようになる環境づくりをめざす。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など  ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	①アルコール依存症関連問題啓発週間における啓発事業 ②ギャンブル等依存症問題啓発週間における啓発事業（大阪府、大阪市との共同事業） ③行政機関及び医療機関向けの依存症に関する研修事業（大阪府、大阪市との共同事業） ④依存症治療拠点、専門医療機関選定 ⑤依存症対策推進懇話会の実施（年4回程度） ⑥依存症対策庁内委員会の実施（年3回程度） ⑦堺市依存症地域支援計画の策定業務					
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	大阪府、三菱UFリサーチ&コンサルティング株式会社大阪					
10	公民連携・協働事業						

### II. 事業目的の達成状況

#### 事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標					
	依存症地域支援計画の策定と、啓発事業等の実施					
	当該目標を設定した理由	依存症対策を計画的に遂行するために、令和3年度に依存症地域支援計画の策定した。策定のために必要な、意識調査や懇話会等を実施し、市民等の実状や意見をより反映させたものとする。				
	目標に対する実績	当事者及び家族へのインタビュー調査を実施。依存症対策推進懇話会を4回実施。				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標	
	依存症支援者研修事業受講者数	人	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
			目標値	20	20	20
			実績値	23	5	
達成率	115%	25%				
当該指標を選定した理由	社会資源として医療機関や相談機関を増加させ、市民が受診や相談をしやすくなることが必要であるため。					
目標値の設定根拠・算出方法	研修受講者数					

## 令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	依存症対策推進事業	事業番号	011-275
-------	-----------	------	---------

### Ⅲ. 投入量

#### 事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	0	1,964	3,235	3,057	625
13 財源内訳					
国支出金	0	966	1,596	1,510	291
府支出金	0	0	0		0
市債	0	0	0		0
その他 ( )	0	0	0		0
受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0		0
一般財源	0	998	1,639	1,547	334
14 人件費 (b)	0	10,511	9,085	9,085	8,225
15 年間経費(c)=(a)+(b)	0	12,475	12,320	12,142	8,850

#### 事業費の内訳

（単位：千円）

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源	
								謝礼金 (枠)
	R4 予算	385	194	R4 予算	88	44		
16 事業費内訳	普通旅費 (枠)	R3 決算	8	8	依存症地域支援計画策定関係委託料	R3 決算	2,277	1,139
		R4 予算	39	39		R4 予算	0	0
	消耗品費 (枠)	R3 決算	5	3		R3 決算		
		R4 予算	2	1		R4 予算		
	通信運搬費 (枠)	R3 決算	26	26		R3 決算		
		R4 予算	9	5		R4 予算		
	依存症支援者研修事業負担金	R3 決算	115	58		R3 決算		
		R4 予算	102	51		R4 予算		

### Ⅳ. 事業の効率性

#### 単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度
① 依存症研修受講者数	人	23	5
② 上記①にかかる年間経費	千円	737	771
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	32,044	154,200
備考 (算出についての説明等) 依存症地域支援者研修事業 (大阪府、大阪市との共同事業) に係る負担金及び人件費を計上			

### Ⅴ. 評価

#### 費用対効果に係る所見

18 依存症対策においては、「予防」、「早期発見」、「回復支援」という各ステージごとの支援形態があり、医療機関や福祉施設等の、ステージに応じた社会資源がそれぞれに対応している。また、必要な人に情報や支援が行き届いていないことが問題とされている。アルコール、薬物、ギャンブル等など、依存症の疾患群は複数あるが、回復や支援には共通性があるため、「依存症」という枠組みで地域支援計画を策定し、計画的に事業を推進することが有効である。その準備として、令和2年度には市民5,000人に対して意識・行動調査を実施した。令和3年度は、地域支援計画策定に向け懇話会を4回開催し、各有識者や当事者などから様々な意見を聴取した。また、当事者や家族からのインタビュー調査も併せて実施することで、より実効性のある計画とすることが出来た。また、策定委託の事業者からは、懇話会のオンライン開催や、計画本文の筆耕、デザインデータ作成などにおけるサポートを受け、当初のプラン通りに事業を遂行することが出来た。

なお、依存症研修については、堺市内の機関からの受講者は5人という状況であった。本研修は、業務委託等の観点から本市単独で実施するよりも大阪府、大阪市、堺市の共同事業として実施する方が効果的かつ効率的であると考えられるため、引き続き連携しながら、研修効果の向上について検討・実施する。また、依存症への対応が可能となる人材の更なる育成のため、受講者数の増加のための検討も行う。

#### KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19 基本計画2025では、重点戦略の(6)暮らしを支えるセーフティネットの構築「依存症対策の強化」の掲げている。令和4年3月に「堺市依存症地域支援計画」を策定し、専門医療機関の充実や、関係機関等の連携の場を創設することなどを目標として掲げた。計画は令和4年度からの5年計画であり、進捗管理も行うことから、2025年時点での改善点を確認できるようになっており、取組の方向性に合致している。

また、各依存症のなかでもアルコール依存症は、市民にとって最も身近であり、アルコールの習慣的で過剰な摂取や、依存症の状態になることは、肝臓病やがんなどの身体疾患、不眠症、うつ病になるリスクが増大する。うつ病は自殺における大きなリスク要因であることから、予防や医療的、福祉的な支援が必要である。このように依存症と自殺との関連性は深いことから、「堺市依存症地域支援計画」においても、自殺対策を盛り込んでおり、基本計画2025における「自殺死亡率14.2」の達成に寄与する。